

牛乳の検査

石井慶造、松山成男、寺川貴樹、菊池洋平、石崎梓
東北大学大学院工学研究科
生活環境早期復旧技術研究センター

1. 目的

スーパーマーケットに出品されている牛乳の放射能を調査する。

2. 方法

仙台市内のスーパーマーケットに陳列されている牛乳パックからランダムに9製品（6社）を選べ、生牛乳を抽出してGe検出器で測定する。

3. 結果（平成24年6月13日発表）

下表は、分析結果を示す。どの製品からも、セシウム134、セシウム137の比放射能は、1.23ベクレル/キログラム（Bq/kg）であった。カリウム40の比放射能も測定した。セシウム134+137の約10倍以上の比放射能があった。

製造場所	134Cs(Bq/kg)	137Cs(Bq/kg)	40K(Bq/kg)
北海道	<1.23	<1.23	<33
岩手	<1.23	<1.23	<33
宮城	<1.23	<1.23	<33
宮城	<1.23	<1.23	<33
宮城	<1.23	<1.23	63
東京	<1.23	<1.23	71.7
東京	<1.23	<1.23	47.7
東京	<1.23	<1.23	49.9
神奈川	<1.23	<1.23	36.8

作成者：石井慶造